

【11月号特集「回転機技術」予告】

回転機技術委員会委員長 山崎 克巳（千葉工業大学）

回転機技術は、産業の基盤を担う基礎技術であり、かつ、パワーエレクトロニクス、磁性材料、および電磁界解析技術などの幅広い周辺技術の広がりを持っています。このような背景から、電気学会回転機技術委員会では、回転機全般の研究会を主催するほか、モータドライブ技術委員会、リニアドライブ技術委員会、家電・民生技術委員会、および電力・エネルギー（B）部門における静止器技術委員会と合同の研究会を共催しています。これらの研究会における年間総論文数は毎年百件以上となっており、質の高い発表に伴って活発な議論が行われています。

そこで、これらの最新の成果を集約し、回転機技術の動向を明確にする目的で、平成23年11月号にて「回転機技術」特集を企画いたしました。本特集号では、回転機研究会で口頭発表された論文などをベースとし、質疑やコメント等の討議結果を踏まえて電気学会論文誌に投稿され、査読を経て掲載決定となった論文を、特集論文としてまとめて掲載いたします。

なお、回転機技術委員会では、今後も特集を定期的に企画する予定です。次回の募集締め切り日などが決定次第、電気学会ホームページおよび産業応用部門ニュースレターに募集記事を掲載させていただきます。今後とも奮ってご投稿いただければ誠に幸いです。

編集後記

沖縄で開催された琉球大学での産業応用部門大会も終わり、いよいよ秋本番となってまいりました。皆様におかれましては、秋の夜長、いかがお過ごしでしょうか。今月号からは来年度の千葉工業大学で開催予定の産業応用部門大会の予告を掲載しております。

巻頭言では、ITS技術委員会委員長である泉隆先生（日本大学）から「安全・快適ドライブをサポートするITS」と題してご執筆いただきました。我々の身近にあるITS技術を中心に、委員会の活動分野についてご紹介いただきました。

学会情報では、5月30日から6月3日に韓国済州島（Jeju島）で行われたICPE2011のレポートを千葉工業大学西田先生にご執筆いただきました。計455件の論文発表があり、アジア圏におけるパワーエレクトロニクス分野の関連性が伝わる記事となっています。

技術開発レポートは、パナソニック電工中田博志様からエネルギー監視用小型データ収集機器の開発についてご寄稿いただきました。省エネルギーを推進する機器として今後広く利用されることが期待されます。

研究グループ紹介では東京電機大学榊川重男先生に研究室の紹介をいただきました。研究室の合言葉である「簡潔な回路構成とPE技術による創エネルギー」の内容を伝える興味深い内容となっています。

また、産業応用部門誌平成23年11月号特集「回転機技術特集号」についての予告を掲載しております。産業の基盤を担い、幅広い広がりを持つ回転機技術の最新成果が掲載される予定で、次号が大変楽しみであります。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、本稿作成にご協力いただきました皆様に心より厚く御礼申し上げます。

エディタ 加藤 敦（住友重機械工業）

※ 本文中の E-mail アドレスをご利用になる場合には、“(at)”を“@”に置き換えて下さい。